

—Special Section on Recent Progress  
in Verified Numerical Computations—

We are pleased to announce the special section of IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE" to be published in January 2014. The major part of this issue will consist of the special section focusing on recent progress in the field of verified numerical computations. The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to, the following areas:

- Computer-assisted proofs for nonlinear problems using verified numerical computations
- Verified numerical linear algebra as the base of treating nonlinear problems
- Verified numerical computations for dynamical systems
- Mathematics for verified numerical computations
- Applications of verified numerical computations in science and engineering

The submitted papers will be handled by the Editorial Committee of the Special Section, and peer-reviewed by anonymous referees. The deadline of the paper submission is April 15, 2013. Prospective authors are requested to follow carefully the submission process described below:

1. Submit a paper using the IEICE Web site ([https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)).

Authors should choose "[Special-EN] Verified Numerical Computations" as a "Type of Issue (Section)/Transactions" on the line screen. Do not choose "[Regular-EN]".

2. Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to the following address:

Kenta KOBAYASHI, Graduate School of Commerce and Management, Hitotsubashi University  
2-1 Naka, Kunitachi, Tokyo 186-8601, Japan  
E-mail: [kenta.k@r.hit-u.ac.jp](mailto:kenta.k@r.hit-u.ac.jp)

FAX: +81-42-580-8747 (please attach a cover sheet indicating "From YOUR NAME" as the sender together with "To Prof. Kenta Kobayashi" as the receiver.)

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by April 15, 2013. We cannot start the review process without them, even if we receive the manuscript. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following web site:

<http://www.nolta.ieice.org/authors.html>

Please note that if the paper is accepted, then the authors are requested to pay for the article charges covering partial costs of publications. The article charges cannot be waived.

The article charges until 30 pages:

One of the authors is a member of IEICE: 60,000 JPY  
Otherwise: 65,000 JPY

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit

manuscript. However, we recommend that the authors unaffiliated with IEICE apply for membership: <http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

Guest Editors

Nobito YAMAMOTO (The University of Electro-Communications), Takeshi OGITA (Tokyo Woman's Christian University)

Guest Associate Editors

Stef GRAILLAT (Pierre and Marie Curie University), Kaori NAGATO-PLUM (Karlsruhe Institute of Technology), Katsuhisa OZAKI (Shibaura Institute of Technology), Yoshitaka WATANABE (Kyushu University)

Secretaries of the Special Section

Takashi HISAKADO (Kyoto University), Kenta KOBAYASHI (Hitotsubashi University)

—音響学の発展を支える信号処理技術小特集  
(和文論文誌 A) 論文募集—

音響学の発展を支える信号処理技術小特集編集委員会

音響学は、ピタゴラスやガリレオの時代から脈々と続く古典的な学問でありながら、それぞれの時代で発明された様々な科学技術を積極的に取り入れつつ、発展を続けています。近年は、情報処理技術と結び付くことにより、携帯形の小形情報端末での音響インタフェースから超臨場感通信まで、幅広く研究開発が進められています。本小特集(平成26年4月号)では、音響学の発展に欠くことができず、また新たな学際的分野をひらくための基盤となり得る音響信号処理技術に関連する論文を幅広く募集致します。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

音響信号処理に関連する論文を募集致します。下記の代表的分野に限定せず、他分野との境界領域テーマも含めて、幅広いテーマの論文を募集致します。

- 音響信号解析・分析
- 音響収音・記録・再生
- 立体音響, 空間音響 (HRTF 関連分野も含む)
- 音響信号符号化
- 音源分離, 音響信号強調, 音源方向推定
- 音響信号品質評価

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり8ページ程度、レターは標準2ページ最大4ページとします。4ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」([http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html))を御覧下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文の投稿

投稿は原則、電子投稿とします。 [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館内  
FAX [03] 3433-6692 E-mail: wabun-a@ieice.org

4. 論文投稿締切日 平成25年7月12日(金)必着  
投稿者チェックリスト・著作権譲渡書がこの期日までに学会事務局に届くようにして下さい。

5. 問合せ先

水町光徳 九州工業大学大学院工学研究院電気電子工学専攻  
E-mail: mizumach@ecs.kyutech.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 安藤彰男 (NHK)  
編集幹事 荻木禎史 (熊本大), 水町光徳 (九工大)  
編集委員 岩谷幸雄 (東北学院大), 小澤賢司 (山梨大), 鎌本優 (NTT), 猿渡洋 (奈良先端大), 澤田宏 (NTT), 杉本岳大 (NHK), 中迫昇 (近畿大), 中山雅人 (立命館大), 西村竜一 (NICT)

——ISMICT2013 関連医療・ヘルスケアにおける  
情報通信技術小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

医療・ヘルスケアにおける情報通信技術  
小特集編集委員会

高齢化社会が進む現在、医療・ヘルスケア分野における情報通信技術がますます注目されており、近年、多くの研究開発が盛んに行われてきています。IEEE802.15 TG6においては、ボディエリアネットワークのための標準規格が2012年2月に正式に成立されており、実用化に向けた本格的な研究・開発が始まっています。本小特集では、2013年3月に東京で開催される医療情報通信における国際シンポジウム (International Symposium on Medical Information and Communication Technology; ISMICT2013) の主なトピックに関連して、情報通信技術の観点から医療・ヘルスケアにおける情報通信技術の最新研究開発成果を幅広く募集します。現状の業界における最新動向の把握と、今後の医療・ヘルスケアにおける情報通信技術に関する研究開発を一層促進するために、本小特集 (2014年3月号掲載) を企画致します。

ISMICT2013の採択論文はIEEEが著作権を持つため、ISMICT2013の採択論文に関連する内容の論文を本小特集に投稿する際は、著作権問題が起きないように御配慮下さい (Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) も御参照下さい)。なお、本小特集で採択された論文は、IEICE Transactions Onlineに掲載されますが、IEEE Xploreには掲載されません。

1. 対象分野

医療・ヘルスケアにおける情報通信技術に関する以下の分野を対象とします。

- ・ボディエリアネットワーク技術; PHY, MAC
- ・医療用センサネットワーク, マルチホップ, リレー, 協力伝送技術
- ・高信頼性技術
- ・ウェアラブル及びインプラントデバイス技術
- ・人体通信 (HBC)
- ・E-Health システムと医療情報データ収集
- ・ヘルスケアリモートモニタリング及び無線遠隔医療サービス
- ・ヘルスケアサービスのためのクラウドコンピューティング技術及びネットワーク技術

論文特集原稿募集

- ・BANにおけるアンテナ・電波伝搬技術
- ・測位・測距技術など

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_cs.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html)) を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間 (通常は60日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず "Type of Issue (Section)/Category of Transactions" で [Special-EB] Information and Communication Technology for Medical and Healthcare Applications in Conjunction with Main Topics of ISMICT2013 を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" と "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成25年7月1日(月)必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

金ミンソク (東京工業大学大学院理工学研究科国際開発工学専攻)  
〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1-S6-4  
TEL [03] 5734-3633, FAX [03] 5734-3288  
E-mail: mskim@ide.titech.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 井家上哲史 (明大)  
幹事 金ミンソク (東工大)  
委員 原晋介 (阪市大), 王建青 (名工大), 杉町勝 (国立循環器病研究センター), 高玉圭樹 (電通大), 井田一郎 (富士通研), 小川晃一 (富山大), Ilanko Balasingham (Norwegian Univ. Sci. Tech.), Matti Hämäläinen (Oulu Univ.), Yongmei Sun (BUPT), 冀輪正 (NICT)

7. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷50部含む) が必要となります。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——超伝導大規模集積回路の最前線小特集 (英文論文誌 C) 論文募集——

超伝導大規模集積回路の最前線小特集編集委員会

昨年超伝導発見 100 周年を、更にはジョセフソン効果の提案から 50 年以上を経てこの量子現象は身近なものとなっています。これまで単一磁束量子を核とした様々なアプリケーションが提案され、1 万接合を超える大規模集積回路による各種信号処理用マイクロチップも構成されています。しかし実用化という観点からは今一歩という感じは拭えません。シリコンデバイスの頭打ち感も最終段階になりつつあるこの時期こそ、超伝導大規模集積回路が実用化という点で飛躍する可能性が高まっていると判断して、その最前線と題する小特集(平成 26 年 3 月号)「超伝導大規模集積回路の最前線」を企画致しました。本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。積極的な御投稿を期待致します。

### 1. 対象分野

超伝導集積回路に関わる研究分野からの論文を募集します。超伝導集積回路作製プロセスに必要な超伝導薄膜やデバイス作製、回路設計技術等の分野も包含します。また、デジタル回路のみならず、アレー検出器や SQUID などのアナログ回路も対象とし、それらの信号処理回路を含めたシステム化技術なども投稿可能です。

### 2. 論文の執筆と取扱い

本小特集ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 4 ページ以内(厳守)とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) より登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で、“[Special-EC] The front line of Superconducting VLSI”を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡書(Copyright Transfer and Page Charge Agreement; <http://www.elex.ieice.org/data/copyrightform.pdf>) と仮登録確認用紙(Confirmation Sheet of Manuscript Registration; [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)) を下記まで電子メール添付(推奨)・FAX・郵便のいずれかの方法で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 6 月 30 日(日) 必着

### 5. 問合せ先及び著作権譲渡書送り先

小野美 武 東北大学電気通信研究所  
〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1  
TEL [022] 217-5560, FAX [022] 217-5561  
E-mail: onomi@riec.tohoku.ac.jp

### 6. 小特集編集委員会

委員長 中島康治(東北大)  
幹事 小野美 武(東北大)  
委員 吉川信行(横浜国大), 明連広昭(埼玉大), 水柿義直(電通大), 佐藤茂雄(東北大), 山田隆宏(産総研), 猪俣邦宏(理研)

### 7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

### 8. 付記

\*招待論文を含め論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

\*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

## ——集積回路設計技術に関する小特集 (英文論文誌 C) 論文募集——

集積回路設計技術に関する小特集編集委員会

CMOS デバイスの微細化はとどまるところを知らず、現在ナノメートル領域に向かって着実に進行し続けています。その結果、VLSI チップの集積度は指数関数的に増大し、今や 1 チップに 100 億個といった脳の神経細胞数にも匹敵する膨大な数のトランジスタが集積可能になってきております。これにより新たなアプリケーションや情報処理の開拓が期待されます。一方で、漏れ電流やばらつきの問題も顕在化しており、新たな回路技術や設計技術への要求が高まっています。SoC への SRAM やアナログ回路の搭載は一般化し、低電圧動作するメモリや CMOS アナログ回路技術も待望されています。このような背景の下、VLSI の発展に寄与するためには、新しいアプリケーションやアーキテクチャ、更に先進の回路・設計技術が重要となります。そこで、関連の研究成果を発掘することを目的として、集積回路設計技術に関する小特集(平成 26 年 4 月号)を企画しました。奮っての御投稿をお願い致します。

### 1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

・VLSI アーキテクチャ・三次元チップ・SoC・メモリ回路・デジタル回路・インタフェース回路・アナログ回路・低消費電力技術・設計技術・実装技術

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー: 8 ページ、ブリーフペーパー: 4 ページ以内(厳守)とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_es.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で “[Special-EC] Solid-State Circuit Design—Architecture, Circuit, Device and Design Methodology”を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書(Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙(Confirmation

Sheet of Manuscript Registration) を下記まで電子メール添付 (推奨), FAX または郵送で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 7 月 20 日 (土) 必着

5. 郵送先及び問合せ先

宮野信治 (株)東芝半導体システム技術センター先端ワイヤレス・アナログ技術開発部  
〒212-8520 川崎市幸区堀川町 580-1  
TEL [044] 548-2341, FAX [045] 548-8324  
E-mail: shinji.miyano@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 山村 毅 (富士通研)  
幹事 宮野信治 (東芝)  
委員 飯塚哲也 (東大), 江川隆輔 (東北大), 大畠賢一 (鹿児島大), 岡田健一 (東工大), 北川明弘 (ルネサス), 小泉 弘 (NTT), 柴田貴行 (デンソー), 玉井幸夫 (シャープ), 鳥居 淳 (トプスシステムズ), 中武繁寿 (北九州市大), 藤本竜一 (東芝), 榎井昇一 (富士通研), 三浦典之 (神戸大), 宮崎昭彦 (NTT), 宮地幸祐 (中大), 吉村隆治 (日本 TI)

7. 小特集の海外配布

本小特集は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

- \* 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

## ——知能ソフトウェア工学小特集

### (英文論文誌 D) 論文募集——

#### 知能ソフトウェア工学小特集編集委員会

最近のコンピュータネットワークの急速な発展に伴い、人間社会における情報システムの構築を支えるソフトウェア工学が果たす役割はますます重要になっています。また、人間の知的活動を研究する人工知能のアプローチとともに、様々な分野における実用的な研究が盛んになってきています。知能ソフトウェア工学研究会は、人工知能、知識工学、ソフトウェア工学に関する話題を中心に 20 年にわたり、人間の知的活動を支える情報システムの開発に関する実用的な研究を行ってきております。

このような中で 2012 年 8 月 23 日から 26 日、ギリシャのロードス島において JCKBSE2012 (Joint Conference on Knowledge-Based Software Engineering 2012) が開催されました。本小規模国際会議では、厳正な査読の結果、日本、ギリシャ、ポーランドから 35 編の論文が採択されました。

本英文小特集では、本国際会議において発表された論文を、更に発展させて投稿する論文と、通常の公募論文とを併せて募集し、厳正な査読の上で英文誌の論文小特集とすることを企画しました。発行は平成 26 年 5 月号を予定しています。

1. 対象分野

- Knowledge technologies for semantic web

- Ontology engineering
- Ontologies and patterns in UML modelling
- Knowledge technologies for service-oriented systems, Internet of services and Internet of things
- Architecture of knowledge-based systems, including intelligent agents and softbots
- Knowledge-based requirements engineering, domain analysis and modelling
- Knowledge engineering for process management and project management
- Intelligent user interfaces and human-machine interaction
- Methodology and tools for knowledge discovery and data mining
- Automating software design and synthesis
- Automating composition of components and services, methods to predict the properties of composites
- Knowledge-based methods and tools for testing, verification and validation, maintenance and evolution
- Decision support methods for software engineering
- Knowledge management for business processes, workflows and enterprise modelling
- Program understanding, programming knowledge, modeling programs and programmers
- Knowledge-based methods and tools for software engineering education
- Knowledge-based methods for software metrics

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一とします。詳細については英文論文誌に掲載の information for authors (<http://www.ieice.org/eng/shiori/>) を御参照下さい。

投稿は、本会電子投稿システム [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) による電子投稿のみとします。なお登録時には必ず「Type of Issue(Section)/Transactions」で「Special-ED」Knowledge-Based Software Engineering を選択して下さい。[Regular-ED]や他の特集を選択されませんよう御注意下さい。仮登録用紙と著作権譲渡承諾書を下記問合せ先へ平成 25 年 6 月 7 日 (金) までにお送り下さい。スキャン PDF, FAX, 郵送のいずれも結構です。

- 刷り上がり 8 ページ以内とします。規定枚数を超えた場合は、掲載料が累進的にかかります。
- 査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。
- 採択論文が予定件数を超えた場合は、一般論文として掲載する場合があります。
- 採択が決まった論文等の著者 (招待論文を含む) には、最終原稿の提出方法に応じて掲載別刷代が必要となります。この掲載別刷代には、別刷 50 部が含まれています。

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 6 月 7 日 (金) 必着

4. 問合せ先

梶野文洋 日本工業大学工学部情報工学科  
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1  
TEL [0480] 33-7482, FAX [0480] 33-7461  
E-mail: kbse-issue@nii.ac.jp

5. 小特集編集委員会

委員長 松浦佐江子 (芝浦工大)  
幹事 飯島 正 (慶大), 梶野文洋 (日本工大), 竹内広宣 (日本 IBM)  
委員 井垣 宏 (阪大), 大西 淳 (立命館大), 小野康一

(日本IBM), 海尻賢二(信州大), 金井 敦(法政大), 金田重郎(同志社大), 神戸雅一(NTT データ), 白銀純子(東京女子大), 中谷多哉子(筑波大), 中村太一(東京工科大), 芳賀博英(同志社大), 樋山淳雄(東京学芸大), 深澤良彰(早大), 福田直樹(静岡大), 村川猛彦(和歌山大), 山本修一郎(名大), 鷺崎弘宜(早大)

## 6. 重要なお知らせ

投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい：<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

## ——データ工学と情報マネジメント特集

### (和文論文誌 D) 論文募集——

#### データ工学と情報マネジメント特集編集委員会

データベース技術に代表されるデータ工学の分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われています。本会データ工学研究専門委員会が共催しておりますデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM フォーラム)では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っています。これを踏まえ、昨年に引き続き情報・システムサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント特集」(平成26年4月号)を企画致しました。DEIM フォーラムで発表された研究内容を更に発展させた論文、あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さいませよう御案内申し上げます。

### 1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これに限らず広くデータ工学と情報マネジメントに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い致します。

- ・ファイル編成, ストレージ技術
- ・データ構造, インデックス
- ・問合せ処理, 問合せ言語
- ・トランザクション処理, 障害回復
- ・データモデル・データモデリング
- ・並列・分散データベース
- ・空間・時空間データベース, モバイルデータベース
- ・マルチメディアデータベース, テキストデータベース, 時系列データベース
- ・ネットワークとデータ工学, 分散・ユビキタスコンピューティングとデータ工学
- ・クラウドソーシングとデータ工学
- ・データマイニング
- ・XML, 半構造データ
- ・Web 情報システム, Web コンテンツ技術, メタデータ, セマンティック Web
- ・ブログ・ソーシャルネットワーク, クラウドコンピューティング
- ・情報検索・推薦, パーソナライゼーション
- ・コンテンツ管理・流通, 通信放送融合, デジタルアーカイブ
- ・情報の統合・管理, データウェアハウス, OLAP

- ・地理情報システム, 医療・生体情報システム, サイエンスデータウェアハウス
- ・ビジネス情報マネジメント
- ・社会・教育と情報マネジメント

### 2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。  
詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html) を御参照下さい。
- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

### 3. 投稿方法

#### (A) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

#### (B) 郵送

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

#### 【送付先】

〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館  
一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-d1@ieice.org

### 4. 投稿締切日 平成25年7月1日(月) 厳守

### 5. 特集編集委員会

- 委員長 森嶋厚行(筑波大)  
幹事 中島伸介(京都産大), 鈴木伸崇(筑波大), 天竺俊之(筑波大)  
委員 牛尾剛聡(九大), 大島裕明(京大), 太田 学(岡山大), 小山 聡(北大), 片山 薫(首都大東京), 河合由起子(京都産大), 熊本忠彦(千葉工大), 櫻井保志(NTT), 鈴木 優(名大), 田島敬史(京大), 戸田浩之(NTT), 豊田正史(東大), 橋本隆子(千葉商科大), 藤原靖宏(NTT), 義久智樹(阪大), 渡辺知恵美(お茶の水女子大)

### 6. 問合せ先

中島伸介 京都産業大学コンピュータ理工学部ネットワークメディア学科  
E-mail: nakajima@cse.kyoto-su.ac.jp  
鈴木伸崇 筑波大学図書館情報メディア系  
E-mail: nsuzuki@slis.tsukuba.ac.jp

## ——データ工学と情報マネジメント小特集

### (英文論文誌 D) 論文募集——

#### データ工学と情報マネジメント小特集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の2014年4月号において、データ工学と情報マネジメント小特集(Special Section on Data Engineering and Information Management)を掲載致します。本小特集は、データ工学に関連する幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集し、特にビッグデータに関するトピックの論文を推奨致します。

## 1. 対象分野

データ工学とその関連分野の理論並びに実践に関する論文を広く募集致します。対象となる分野は以下のとおりですが、これに限定せずデータ工学に関連するものであれば広く歓迎します。

- ・コア技術：ファイル編成，ストレージ，問合せ処理，問合せ言語，トランザクション処理，索引，ストリーム処理，セキュリティとプライバシー
- ・データベース：クラウドコンピューティング，分散・並列データベース，マルチメディアデータベース，時間・空間データベース，モバイルデータベース，科学データベース，XML・半構造データベース，グラフ管理，ソーシャルネットワーク，センサデータベース，P2P・グリッド上のデータ管理，情報統合，確率的データベース，クラウドソーシング
- ・情報検索：情報抽出，情報要約，情報推薦
- ・データマイニング：データウェアハウス，OLAP，データマイニングアルゴリズム，テキストマイニング，Webマイニング
- ・Web技術：Web検索エンジン，コンテンツ，メタデータ，セマンティックWeb，Webサービス
- ・応用分野：電子商取引，e-ラーニング，デジタルライブラリ，アーカイブ，情報・データ放送，可視化，ユーザインタフェース

## 2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては，“The Information for Authors” ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御一読の上，本会の論文スタイル (<http://www.ieice.org/ftp/index-e.html>) にて原稿を御準備頂けますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は，PAPERで8ページ，LETTERで2ページとなります。
- ・投稿原稿の御提出は，本会のWebサイト ([https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)) を通じてお願い致します。電子メールや郵便での御投稿は受付できません。御投稿の際は，投稿フォームの“Type of Issue (Section)/Transactions”の項目にて，“[Special-ED] Data Engineer-

ing and Information Management”をお選び下さい。

- ・原稿御提出後一週間以内に，“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”と“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”を下記，編集幹事まで，電子メール添付，FAX，郵送のいずれかの方法でお送り下さい。

## 【送付先】

鬼塚 真 NTTソフトウェアイノベーションセンタ  
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11  
TEL [0422] 59-2820, FAX [0422] 59-2965  
E-mail : onizuka.makoto@lab.ntt.co.jp,

## 3. 原稿提出締切日 2013年7月1日(月)

## 4. その他注意事項

- ・論文が採録となった場合，掲載料（論文別刷代金を含む）をお支払い頂くことになります。
- ・条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は，通常の60日より短縮される場合があります。
- ・投稿に際し，著者のうち少なくとも1名は，本会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は (<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。

## 5. 小特集編集委員会

編集委員長（ゲストエディタ） 森嶋厚行（筑波大）  
編集幹事 中野美由紀（東大），鬼塚 真（NTT）  
編集委員 天笠俊之（筑波大），橋本隆子（千葉商科大），Seung-won Hwang（POSTECH），片山 薫（首都大東京），河合由起子（京都産大），鈴木伸崇（筑波大），鈴木 優（名大），田島敬史（京大），Junichi Tatemura（NEC, USA），豊田正史（東大），Jeffrey Xu Yu（Chinese University of Hong Kong），Xiaofang Zhou（Queens University, Australia）

- ◎お問合せ等は編集幹事まで，可能な限り電子メールにてお願い致します。（件名に「IEICE（DE2014）」とお書き下さい。）

電子情報通信学会 編

現代電子情報  
通信選書

《知識の森》シリーズ新刊のご案内

本選書は、最近、電子情報通信でまとまった知識が必要とされている分野について、周辺分野の専門技術者・研究者、学生も含めて体系的な知識が得られるようまとめたものです。

エコ時代に必須となる電磁ノイズ対策のすべて！

## 『電子システムの電磁ノイズ—評価と対策—』

【監修】井上 浩（秋田大学） ○定価3570円(本体3400円+税) / A5判・240頁

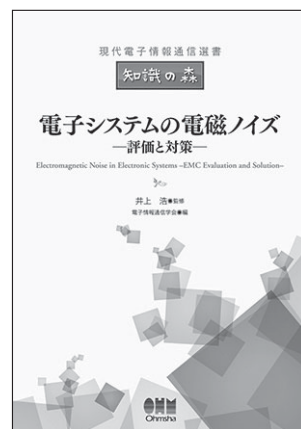
本書は、電磁ノイズ対策について、全体を俯瞰できるような概要から理論、材料、設計技術、評価まで、現場での対策ができるよう丁寧に解説したものです。本分野の専門家でなくても読み進められるように図や具体例を多く掲載しました。

◎このような方におすすめ

- ・電子システムなどのノイズ対策に興味を持っている技術者・研究者
- ・EMC関連に携わる実務者
- ・電気・電子工学関連の学生

◆目次◆

電子システムを取り巻く電磁環境／電磁波ノイズ発生と伝搬の基礎理論／システムと回路の電磁環境設計／放電と電磁ノイズ／電磁環境用材料の設計と評価手法／電磁ノイズの計測と評価



発行：オーム社 〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1 電話03(3233)0641 (代表) <http://www.ohmsha.co.jp/>